

大阪の気候変動の情報を発信します！

おおさか気候変動適応センター 環境研究部技術支援グループ

■背景と目的

緩和とは？ 適応とは？



人間社会や自然の生態系が危機に陥らないためには、実効性の高い温室効果ガス排出削減の取組を行っていく必要があります。温室効果ガスの排出抑制に向けた努力が必要です。

緩和を実施しても気候変動の影響が避けられない場合、その影響に対処し、被害を回避・軽減していくことが適応です。

環農水研は、気候変動適応法に基づき、大阪府から「**おおさか気候変動適応センター**」として指定され、府域における気候変動適応に関する情報収集・分析・発信等に取り組んでいます。

また、環農水研内の農業や漁業、自然生態系、暑さ対策等の研究部門と連携して「**適応**」に向けた技術開発を促進しています。

■事業の内容

- 気候変動適応に関する様々な情報を国立環境研究所等と連携して収集しています。



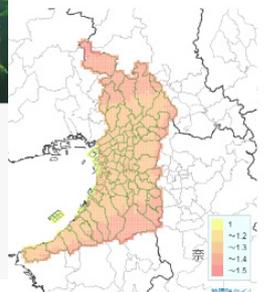
A-PLAT
気候変動適応情報プラットフォーム
CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM

↑ 国環研の情報サイトのロゴ

国環研のワークショップの集合写真



- 「おおさか気候変動適応センター」のホームページでわかりやすく情報発信しています。



1980～2020年の年平均気温に対する2030～2050年の年平均気温の差
温室効果ガスの排出シナリオ： RCP8.5 (現状の緩和策のみ)
気候モデル： MIROC
出典：国気候変動適応センターより提供されたデータからおおさか気候変動適応センター作成

- 一般府民向けに各種イベント、セミナー等で気候変動に関する情報を提供しています。

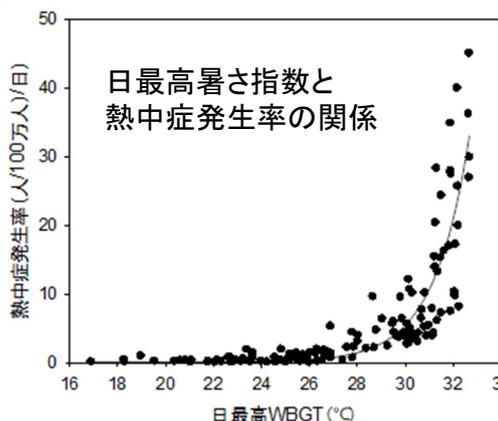


URL: <https://lccac-osaka.org/>



■今後の方向性

- 事業者向けセミナー等の開催
屋外業務の際の暑さ対策等を普及啓発するセミナー等を開催し、府民への適応策の普及を推進します。
- 府域の暑さ対策への技術的支援
2021年度から全国で施行される予定の熱中症アラートを活用した取組を検討します。



WBGT : 暑さ指数。人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい温度・日射など周辺の熱・気温の3つを取り入れた指標

環境省及び
総務省データより
環農水研作成